

表題 新入生自身が知的好奇心のコアをとことん見つめ直す～学問論と挑創カレッジを通して

東北大学は、「研究第一」と「門戸開放」の理念のもと、世界最高水準の研究・教育を実践し、THE世界大学ランキング日本版では3年連続第1位を獲得しました。研究型総合大学としての研究・教育基盤をリソースとし、未来社会に立ち向かうための土台となるべく構築した2022年度からの学士課程教育では、従来のリベラルアーツ教育に加えて、**学問論**と、**挑創カレッジ**を組み入れた現代的知識技能に関する科目群を新設しました。

**学問論**は、高校までの「受け身な学習で正解を求める思考」から大学での「主体的な学修で解決策を究める思考」へと“学びの転換”を促すために設定された、新入生2400名が受講する科目です。主体的に学修するためには、自分は何が「好き」なのかという知的好奇心のコアを見出しておく必要があります。この科目では、本学が有する多様な知の資源を見渡し、他者と対話をしつつ、自分の知的好奇心のコアを他者にもわかる言葉で言語化していきます。大学四年間で達成したい自分像を見出すことで、必要な学修を進める原動力を培ってまいります。

■ 学年・分野を超えて、議論やプロジェクトを段階的に行う取り組み



**挑創カレッジ**は、挑戦する意欲のある学生に、「課題に挑戦し新たな価値を創造する力」を身につけてもらうことを目的としたプログラムです。2022年度は5つのテーマ(AI・データスキル、グローバルマインドセット、アントレプレナーシップ、SDGs、プルリリンガル(複言語能力))を実施しています。

特に、言語と文化の異なる学生同士が協働学修を行う国際共修授業は、現在62科目と国内最大規模で、多くの学生に新たな価値観を創造する学修体験を提供しています。ICT(情報通信技術)を用いてキャンパスや国境を越える取り組みも行っています。

期待出来る成果

本学は、自分自身の知的好奇心のもと、専門分野を深化させ、分野を横断しながら、未来の自分と社会を構想してその実現に挑むフロントランナーを育てていきます。

参考URL

学問論 : <https://ital.ihe.tohoku.ac.jp/academia/>

挑創カレッジ : [https://www2.he.tohoku.ac.jp/zengaku/zengaku\\_cc.html](https://www2.he.tohoku.ac.jp/zengaku/zengaku_cc.html)